



# 農業委員会だより

■発行 柏崎市農業委員会 ■編集 農業委員会情報会議 ■柏崎市日石町2番1号 電話0257-21-2276

## 新道柿



新道柿栽培組合選果場



左：若井さん 右：星野さん

さわやかな甘さ  
柿チップ



柏崎地場特産品

## 新道柿



新道柿栽培組合（鴨下純二組合長）が設立されたのは今から64年前。柏崎の南部、新道地区に大きな柿栽培団地があります。

通称「柿団地」の柿の木は、現在1600本余り。日当たりのよい丘を縦断する道路は、まさに柿の並木道のように癒される風景です。

今年の柿の収穫量は、40t。見慣れた渋抜きのはちまひ柿のほか干し柿、柿チップなど、いろいろな種類にチャレンジして商品化しています。木の上で脱渋する「樹上脱渋」という手法の柿も秋から冬にかけての限定品です。

夏の暑い日差しの中での草刈りや剪定、病害虫の防除や肥培管理など、多くの手間をかけ、一つ一つ丁寧に収穫された柿が選果場へと運ばれます。最後の渋抜きの工程を経て、甘く、果汁たっぷりの柿は、地元のみか市場をはじめ、遠くは北海道へ出荷されます。

## 市議会との 意見交換会

令和4年8月29日、農業委員会役員、農政会議委員と市議会産業建設常任委員会委員との意見交換会を開催しました。

農業委員への女性の参画や人・農地プランの本格化に向けての農地の集積事業、農業の出口戦略、特産品、異業種交流などをキーワードに「農業の魅力を高めるために他産業と交流・連携すべきこと」について意見交換を行いました。



市議会産業建設常任委員会（奥）と農業委員会（手前）



農業委員



山本産業建設常任委員会委員長



佐藤職務代理（左） 石塚農業委員長（右）

## 「スマート農業に思う事」



農地利用  
最適化推進委員  
中村耕一郎

私が就農してから二十数年がたち、就農当時から農業者の高齢化や担い手不足などと言われていきましたが、今田んぼや畑に行くと、高齢化というよりも明らかに農業者が少なくなったことを実感します。

さて、農業も時代に沿って変化しています。農機具や農業機械は、ロボット技術やICTを活用し、省力、精密化や高品質生産を実現する「スマート農業」への対応が目立ちます。

稲作農家の必需品である草刈機は刈払機からラジコン草刈機やロボット草刈機に、トラクターや田植機はロボットトラクターやオート田植機の時代に、コンバインはオートコンバインに、乾燥機はスマホで乾燥機の状態を確認でき、水管理はスマホで操作可能に、水田内の

農薬散布などは動力噴霧器からドローンや無人ヘリへと様々な農業機械が「先端技術」を駆使した「スマート農業」に対応。それは、取りも直さず農作業における「省力・軽労化」であり、新規就農者の確保や栽培技術の継承などが期待されるとのことです。

新型コロナウイルスの影響で大きく生活様式が変わり、さらに某国の紛争によりさまざまな物が高騰している中、米価は上からず先行きが不透明であり、「スマート農業」を導入したくても高価すぎて導入には熟慮が必要ですね。

十年後二十年後息子たちが大人になる頃、農業環境がどう変化しているのか、より良い農業環境にしていけるにはどうしたらよいか、効率的で持続可能な農地利用の最適化を目指し、農地利用の集積・集約化等、農地利用最適化推進委員として微力ながら貢献できたらと思います。

また、農地の集積・集約化が進めば「スマート農業」の効果が最大限発揮されるでしょう。

## 市長へ意見書を 提出しました

令和4年10月17日に、農業委員会は、先の市議会との意見交換会のほか、農業者の意見・要望を取りまとめた「柏崎市農業施策等に関する意見書」を櫻井市長へ提出しました。

意見書では、農業従事者の高



市長と農業委員会役員

齢化と後継者・担い手不足、耕作放棄地の増大のほか、新型コロナウイルスや円安の影響が農業経営にも及んでいる情勢の中での諸課題解決に向け、次のように要望しました。

### 1 柏崎市に必要な農地の存続とその集積・集約

「地域計画」と名称を変えて法定化された「人・農地プラン」を実りあるものとするための農地の集積・集約化と、その前提としての農地の所有者に対する短期助成制度の創設

### 2 活力ある農業者の経営発展に向けた支援

次世代農業を担う若い農業者の育成支援のため、持続可能な高収益産業となるよう、異業種等との連携強化への支援

### 3 有害鳥獣対策の強化

個体数減少に向けた捕獲体制の強化とともに、狩猟者の減少・高齢化の現状を踏まえ、ICTの導入も視野に入れた助成事業の構築



市長と意見交換

市長は、合理的に農地を集積・集約していくために、農業経営の基礎データの公開を前向きに考えていくとし、また、年々生息域を拡大している有害鳥獣について尋ねられ、常態化している被害や市の対応策などについても意見交換を行いました。

私たち農業委員会は、今後も農業委員と農地利用最適化推進委員が一体となり、柏崎市をはじめとする関係機関と連携を深めながら、農業施策に関する諸問題を解決するため、取り組んでまいります。

## 3年ぶりに開催 秋の収穫祭

柏崎の秋の味覚

が一堂に集まった「食」を中心とした「第5回秋の収穫祭」が令和4年

10月23日(日)、市役所や文化会館アルフォーレ周辺を会場に開催されました。新型コロナウイルスの影響で3年ぶりです。

地元のおいしい新米や新鮮野菜、加工品、漬物などの販売、柏崎グルメの提供、ステージイベント、体験コーナーなど、約1万1千人が秋の一日を楽しみました。



# 農業委員会の活動報告

11月21日  
北信越ブロック女性農業  
委員研修会  
(長野市)

北陸5県から約90名が参集した本大会に、当委員会より巻口夏美委員が参加しました。

視察は、果樹地帯での農地整備事業の導入による「長野市若穂地区（中山間地域）におけるりんご産地再生の取組」を現地で見学しました。傾斜樹園地での「スマート農業」の導入を見据えた全国でも先駆けとなる事業です。標高も高く、青空の下、市内を一望できるところでの研修は室内では学べない貴重な体



長野市若穂地区新山田工区



巻口委員 若里市民文化ホール

験でした。

その後の研修のテーマは、「知恵を出し合い、より良い農地利用の最適化に向けて」と題し、座談会を開くときの研修を受けました。講師は、地方考夢（こむむ）員研究所長の澤畑佳夫氏です。

集まっても特定の人が長話をして終わってしまう…そんな座談会にしない、ならない有意義な座談会の進め方をワークショップの形で学びました。まず、「約束」から皆がスタートです。指名を受けて、話をする機会もいただき、汗もかきましたが、良い経験となりました。

11月18日  
新潟県農業委員会大会  
(新潟市)

県内の農業委員、農地利用最適化推進委員が一同に会する本大会に、当委員会より27名の委員が参加しました。

大会は永年勤続表彰に始まり、阿賀野市から事例報告の後、全国農業会議所の柚木専務理事による「農業委員会組織をめぐる情勢と課題」、新潟大学の伊藤名誉教授による「これからの新潟県農業に思うこと」と題した講演がありました。また、上程された3議案が可決されました。



新潟テルサホール



## 女性農業者の皆さん、あなたも農業委員になりませんか

柏崎市農業委員会は、令和5年7月に委員の改選を迎えます。女性の農業就農人口は、全体の約半数を占めるなど、農業・農村の活性化に向けて、全国各地に女性が進出しています。地域農業をもっと元気にしていくためには、女性の力が必要です。

業務内容など、お気軽にお問い合わせください。募集内容は、次のページをご覧ください。



# 農業委員と農地利用最適化推進委員を募集します

令和5年7月19日をもって任期満了となる農業委員と農地利用最適化推進委員の推薦を求めるとともに募集を行います。

## 推薦および募集要項

	農業委員	農地利用最適化推進委員																																
応募方法	<p>○推薦または自薦によります。</p> <p>○既定の様式に必要事項を記入のうえ、持参または郵送により農業委員会事務局、両町事務所へご提出ください。(市役所開庁日の午前8時30分から午後5時15分まで。)</p> <p>○様式は農業委員会事務局、両町事務所のほか、柏崎市農業委員会ホームページからもダウンロードできます。</p>																																	
受付期間 (予定)	<p><b>令和5年3月3日(金)から 令和5年3月30日(木)まで【必着】</b></p>	<p><b>令和5年4月25日(火)から 令和5年5月22日(月)まで【必着】</b></p>																																
対象者	農業に関する識見を有し、農地等の利用の最適化の推進に関する事項やその他の農業委員会の所掌に属する事項に関し、その職務を適切に行うことができる者	農地等の利用の最適化の推進に熱意と識見を有する者																																
資格	<p>次のいずれかに該当する者は、委員となるできません。</p> <p>○破産手続開始の決定を受けて復権を得ない者</p> <p>○禁固以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで、またはその執行を受けることがなくなるまでの者</p> <p>○柏崎市の職員</p> <p>○柏崎市が設置する他の附属機関等の委員</p>																																	
主な職務	<p><b>農地利用最適化推進委員と連携した以下の業務</b></p> <p>○担い手への農地集積・集約化</p> <p>○遊休農地の発生防止・解消</p> <p>○新規参入の促進</p> <p>○総会に出席し、農地の貸借・売買や転用等の審議・判断</p> <p>○農地の貸借・売買や転用等に関わる現地確認、関係者への聴取、非農地判断</p>	<p><b>農業委員と連携した以下の業務</b></p> <p>○担い手への農地集積・集約化</p> <p>○遊休農地の発生防止・解消</p> <p>○新規参入の促進</p> <p>○遊休農地に係る調査および遊休農地所有者への利用意向確認</p>																																
任期	<p><b>令和5年7月20日から 令和8年7月19日まで</b></p>	<p><b>委嘱された日(令和5年8月を予定)から 令和8年7月19日まで</b></p>																																
募集人数	<b>19名(市内全域を1区として募集)</b>	<b>27名(地区ごとに募集数を定める)</b>																																
選任方法	<p>推薦を受けた者および応募した者の中から候補者を選定し、市議会の同意を得たうえで、市長が任命します。</p> <p>※選定に当たっては、農業委員候補者評価会議を開催し、提出された書類をもとに評価を行い、市長に報告します。(必要に応じて面接を行う場合があります。)</p> <p>※選定に当たっては、次の条件があります。</p> <p>①認定農業者が過半数であること。</p> <p>②利害関係のない者(中立委員)を1名以上含むこと。</p> <p>※また、委員の配置にあたっては、地区ごとに偏りがないように配慮します。</p>	<p>推薦を受けた者および応募した者の中から候補者を選定し、下表のとおり担当地区を定めて農業委員会会長が委嘱します。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>田尻</th> <th>北鯖石</th> <th>中鯖石</th> <th>南鯖石</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2名</td> <td>2名</td> <td>2名</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <th>北条</th> <th>西中通</th> <th>中通</th> <th>柏崎</th> </tr> <tr> <td>2名</td> <td>3名</td> <td>2名</td> <td>2名</td> </tr> <tr> <th>米山・上米山</th> <th>高田</th> <th>高柳</th> <th>西山</th> </tr> <tr> <td>1名</td> <td>2名</td> <td>2名</td> <td>2名</td> </tr> <tr> <th>上条</th> <th>別俣</th> <th>野田</th> <th>鶴川</th> </tr> <tr> <td>1名</td> <td>1名</td> <td>1名</td> <td>1名</td> </tr> </tbody> </table> <p>※選定に当たっては、提出された書類を基に評価を行います。(必要に応じて面接を行う場合があります。)</p>	田尻	北鯖石	中鯖石	南鯖石	2名	2名	2名	1名	北条	西中通	中通	柏崎	2名	3名	2名	2名	米山・上米山	高田	高柳	西山	1名	2名	2名	2名	上条	別俣	野田	鶴川	1名	1名	1名	1名
田尻	北鯖石	中鯖石	南鯖石																															
2名	2名	2名	1名																															
北条	西中通	中通	柏崎																															
2名	3名	2名	2名																															
米山・上米山	高田	高柳	西山																															
1名	2名	2名	2名																															
上条	別俣	野田	鶴川																															
1名	1名	1名	1名																															
その他	<p>○両委員とも柏崎市の非常勤特別職となり、職務には守秘義務が伴います。</p> <p>○応募の状況については、柏崎市ホームページ等で公表します。なお、公表は住所を除く全ての記載内容を対象とします。</p>																																	

# 柏崎市賃借料情報

令和5年1月1日  
柏崎市農業委員会事務局

- 令和4年1月から12月までに締結(公告)された農地の賃借料情報を提供します。
- これは、農地の賃借料を話し合うときの目安となるように地域の実勢を最も多い締結額、最低額、最高額で表したもので、賃借料を決めたものではありません。
- 賃借料を決める際は、農地の実情に応じ、貸し手と借り手の両者でよく協議したうえで決定してください。

## 1 田(水稲) 10アール当たり (100円未満四捨五入)

締結(公告)された地域名	最も多い締結額(円)	最低額(円)	最高額(円)	データ総数(筆)	備考
旧 柏 崎 田 尻 北 鯖 石 西 中 通	10,000	3,000	15,700	1,486	
中 通 中 鯖 石 高 田 上 条	10,000	2,700	15,000	596	
米 山 高 浜	1,300	1,300	1,300	7	
黒 姫 上 米 山 南 鯖 石 北 条	5,000	2,400	10,500	513	
高 柳 町	5,000	5,000	10,000	52	
西 山 町	5,000	3,000	12,000	230	

## 2 畑(普通畑) 10アール当たり (100円未満四捨五入)

締結(公告)された地域名	最も多い締結額(円)	最低額(円)	最高額(円)	データ総数(筆)	備考
柏崎市全域	5,000	3,000	10,700	45	

# 利用権を設定し、安心して農地を貸し借りしましょう

～柏崎市の農地の利用権設定は年2回（4月、12月開始）～

利用権の設定は、農地の貸し借りを行う制度です。

農地法の許可は不要で、期間終了後、離作料の支払いなしで農地が返還されます。

また、利用権の再設定により更新することができます。

■設定できる期間・・・3年・6年・10年

■申出書の提出期限 4月20日設定開始・・・令和5年2月10日(金)

12月20日設定開始・・・令和5年10月10日(火)



■申出書の提出先

各地区の農業委員・農地利用最適化推進委員または農業委員会事務局（柏崎市役所3階）

※利用権設定満了を迎える方には、各地区の農業委員・農地利用最適化推進委員または農業委員会事務局を通じて、更新用の申出書をお届けします。

※新規に設定する場合の申出書は、農業委員会事務局にあります。

※詳しくは、農業委員会事務局（電話21-2276、FAX22-5904）にお問い合わせください。

## 利用権設定 よくある質問

Q 私の地区の小作料はいくらですか？

A 平成22年から標準小作料制度は廃止されたので、現在は「小作料」として農業委員会で示しているものではありません。

現在はそれにかわるものとして、当市の賃借料情報を提供しています。(6ページ)

Q お金ではなく米で賃借料を納めていますが、申出書にはどのように記入すればいいですか？

A 申出書には、米を金額に換算して記入してください。

Q これまでは自分で耕作していましたが、離農して誰かに耕作してほしい場合は、どこへ相談すればいいですか？

A 地区の農業委員または農地利用最適化推進委員にご相談ください。

Q 今の農地の貸し借りを契約の途中で解約したいのですが、どうすればいいですか？

A 双方の合意のもとで解約が可能です。農業委員会に合意解約の通知をしていただく必要があります。

Q 契約期間の途中で貸し手が亡くなった場合、契約はどうなりますか？

A 相続人に引き継がれますので、死亡によって契約が終了するわけではありません。

# 免税軽油に係る耕作証明書は

1月10日(火)から1月31日(火)まで柏崎市役所3階の農業委員会事務局窓口  
または高柳町事務所・西山町事務所で発行いたします。

《持ち物など》

- ・本人確認資料（免許証・保険証など）
- ・代理人申請の場合は、委任状と代理人の本人確認資料（証明対象者と同一世帯の方は、委任状は不要です。）
- ・法人申請の場合は、法人の印鑑をお持ちください。
- ・1通300円の発行手数料がかかります。



国民年金に上乗せする公的な年金制度

## 農業者年金で

### 老後の生活を 安心サポート



あなたの老後生活への備えは十分ですか？年金は家族一人ひとりについて準備することが大切です。  
農地を持たない農業者や家族従業者も加入できます。



- 1 農業者なら広く加入できる
- 2 積立方式で少子高齢化時代に強い
- 3 保険料は2万円から自由に選択できる
- 4 終身年金で80歳までの死亡一時金あり
- 5 保険料は全額社会保険料控除
- 6 保険料の国庫補助制度(一定要件あり)

毎週金曜日発行

# 全国農業新聞



発行所：全国農業会議所

農業の最新情報や営農に役立つ情報が満載です。地域の明るい話題なども紹介し、ご家族も楽しめます。

■ 毎週金曜日発行  
■ 月額700円  
■ (送料、消費税込み)  
■ 申込みは、農業委員会事務局へ

## 農業委員会だより

を市のホームページに掲載しています。  
農業委員会のホームページは、農地に関するさまざまな情報を掲載しています。

柏崎市農業委員会

検索

## 編集後記

いまだ終わりの見えない新型コロナウイルスやウクライナ侵攻などの不安、また農業資材などの高騰、異常気象により難儀した一年ではなかったでしょうか。自身がなりわいとしている稲作も大幅減収となり、ようやく予約分を確保したところです。

そんな試練の中ではあります「農地利用の最適化」への取り組みを積極的に推進していきます。地域での話し合いはもとより「見守り活動」や「声掛け活動」を日常的な行動として、その役割を担っていきたくと思っています。また、本紙では、農業委員会の活動をお伝えし、皆様のお声を反映させていただくためにも紙面の充実に努めていきます。今年がより良い一年でありますように。  
(石塚 道宏)

編集委員長  
編集副委員長  
編集委員



小柳 直樹  
小川 勝史  
尾崎 公明  
尾崎 正俊  
小俣 立史  
石塚 道宏